

## 市内全10地区（中津川市）

## 【地域の概要】

- 中津川市は、岐阜県の東南端に位置し、市域は東西に28km、南北に49km、面積は676.45平方キロメートルで、その約80%を森林が占める中山間地域です。
- 総農家数が減少傾向にあり、加えて高齢化率も高くなっています。農家数の約9割が兼業農家で、中核的な担い手農家が不足している状況です。
- 耕地面積は県下2番目（中津川市3990ha。東海農林水産統計年報H30.6公表分より）の広さを有しており、稲作をはじめ農作物全般で農薬や化成肥料の使用を抑えた「ぎふクリーン農業」に代表される環境保全型農業が積極的に行われ、安全・安心な農作物のブランド化に努めており、特に夏秋トマト・なすは、「安全でおいしい」と市場でも高い評価を得ているほかシクラメンの産地としても知られるなど、地形や気候等の特徴を活かした農業が展開されています。

## 取組開始前の状況や課題

- 農家の高齢化や後継者がいない農家も多く、特に中山間地の耕作条件が悪い農地においては引き受け手が無く、遊休農地となるおそれがある。
- 農地中間管理機構、農協、市、農業委員会の職員等により、定例的に貸し手と借り手のマッチングを図っているが、なかなか貸借が進まない。

## 無料 農地相談会



農地相談会のチラシの一部

## 取組内容

- 東美濃農協が事務局となり、中津川市、恵那市、両市の農業委員会、岐阜県農畜産公社の共催により、中津川市においては全10地区で、無料農地相談会を開催した。
- それぞれの地区の農業委員、農地利用最適化推進委員が出席して開催し、多くの農家から各種相談があり、関係機関が協力して問題の解消にあたっている。



農地相談会の様子

## 今後の展開と方向性

- 課題で示したとおり、貸し手と借り手のマッチングがなかなか進展しないことから今後は地域の情報に詳しい農業委員、推進委員も各地区ごとにマッチングに取り組んでいくことを検討している。
- 今後も各地区において農地相談会を継続して開催していくこととしている。また、平成31年度から毎月、無料農地相談会の開催を計画している地区委員会もある。
- 農家へのアンケート調査を実施した地区委員会や農地の貸借状況を可視化するために、地図に担い手ごとに営農している農地を色分けして表示している地区委員会もあり、農地利用の最適化に向けて取り組んでいく。